



## 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月14日

上場会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6835 URL <http://www.at-global.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 大嶋 章禎

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 増田 晴美

TEL 03-5437-6007

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	13,677	4.1	△986	—	△1,272	—	△1,403	—
2018年12月期第2四半期	13,142	△1.0	△463	—	△813	—	△892	—

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 △1,414百万円 (—%) 2018年12月期第2四半期 △976百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	△12.80	—
2018年12月期第2四半期	△8.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	23,083	2,957	12.1
2018年12月期	22,675	4,657	19.4

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 2,794百万円 2018年12月期 4,395百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

当期の業績予想につきましては、現時点で未定としています。

(詳細は、[添付資料]P3「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	109,671,545 株	2018年12月期	109,632,545 株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	295 株	2018年12月期	186 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	109,662,426 株	2018年12月期2Q	109,435,547 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当期の業績予想につきましては、現時点で未定としています。  
(詳細は、[添付資料]P3「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) その他、会社の経営上の重要な事項 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)における当社グループを取り巻く環境は、米中間の通商摩擦や英国のEU離脱問題、中国を始めとするアジア新興国経済の鈍化、さらにアジア・オセアニア諸国における国政選挙の影響等、先行き不透明感が強まる状況で推移しました。

このような事業環境の下、当社グループは、持続的な成長と安定した収益確保を目指し、競争力の高い製品やサービスの開発に取り組み、顧客志向のソリューションビジネスを強化しつつ、販売パートナーとの連携強化に努めてまいりました。また、主に日本で人員増強を実施する一方、海外で不採算拠点の組織再編等に取り組んで事業の効率化を図りました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、EMEA及びアジア・オセアニアにおいて前年同期比で減少したものの、日本での売上が好調に推移した結果、連結売上高は前年同期比4.1%増の136億77百万円となりました。損益面につきましては、前年同期に比べて円安に推移したことから日本での売上原価が増加し、さらにリセール品の売上が増加したことから収益性が低下し、売上高総利益率が下がりました。また、販売費及び一般管理費は主に人員増強による人件費等が増加したため、営業損失は9億86百万円(前年同期は4億63百万円の損失)となりました。さらに、為替差損の計上等により、経常損失は12億72百万円(前年同期は8億13百万円の損失)、欧州及びアジアにおける事業再編損等の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は14億3百万円(前年同期は8億92百万円の損失)となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの所在地域別のセグメント売上高の概要は、次のとおりです。

[日本]

日本では、ソリューションビジネスの強化のため人員増強を図り、ターゲット市場とする医療・公共・文教を中心にダイレクトタッチによるエンドユーザーへのきめ細やかな営業を実施してまいりました。こうした取り組みの効果が現れ始め、医療機関及び自治体、製造業向けの案件が好調となりました。製品別では、従来のスイッチ製品の売上が減少した一方、無線LAN製品及びxシリーズ・スイッチ製品群、さらに設計・工事等に係るサービスの売上が増加しました。この結果、売上高は前年同期比14.0%増の81億71百万円となりました。

[米州]

米州では、SFPモジュール製品やメディアコンバーターの販売が減少したものの、xシリーズ・スイッチ製品群や低位機種種のスイッチ製品の売上が堅調となりました。この結果、米州での売上高は前年同期比でほぼ横ばいの24億71百万円となりました。

[EMEA(ヨーロッパ、中東及びアフリカ)]

EMEAでは、フランスで防衛関連施設やイギリスでスマートビルに係る案件が好調となったものの、イタリアでは競合との価格競争が激しく販売代理店向けの出荷が減少しました。製品別では、xシリーズ・スイッチ製品群の売上が増加しましたが、メディアコンバーターや低位機種種のスイッチ製品の売上が減少しました。この結果、EMEAの売上高は前年同期比12.6%減の21億1百万円となりました。

[アジア・オセアニア]

アジア・オセアニアでは、第2四半期(4～6月)に集中して国政選挙が実施された影響があり、公共案件の受注が振るいませんでした。国別では、タイでサイバーセキュリティ対策関連の案件が好調となりましたが、インドネシアやマレーシア、ニュージーランドで売上が減少しました。製品別では、産業用スイッチやネットワークインタフェースカードの売上が増加したものの、xシリーズ・スイッチ製品群の売上が減少しました。この結果、売上高は前年同期比15.2%減の9億33百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は230億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億7百万円増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が7億73百万円減少した一方で、原材料及び貯蔵品が1億15百万円、無形固定資産が1億10百万円増加となり、また、一部の在外連結子会社がIFRS第16号を適用したこと等により有形固定資産が9億2百万円増加したことによるものです。

(負債)

負債合計は201億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億7百万円増加となりました。これは主に、一部の在外連結子会社がIFRS第16号を適用したこと等により、流動負債のその他が3億68百万円、固定負債のその他が14億96百万円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、29億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億99百万円減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び、IFRS第16号の経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において累積的影響額を調整したことにより利益剰余金が15億94百万円減少したことによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ7.3ポイント低下となる12.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、35億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億9百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ4億61百万円の収入増となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が増加した一方で、たな卸資産が減少し、前受収益が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億61百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ3億28百万円の支出増となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出の増加によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億89百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ6億15百万円の収入減となりました。これは主に、短期借入金の純減額、長期借入金の返済による支出が減少した一方で、長期借入れによる収入が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、現在23か国に子会社を保有し事業を展開しています。そのため、昨今の為替変動及び米中間の通商摩擦や英国のEU離脱問題、中国経済の減速等による世界経済情勢への影響により、当社グループを取り巻く事業環境が短期的に大きく変動するリスクがあります。特に海外子会社では中央・地方政府の大型公共事業を手掛けることが多く、政治・経済動向が当社の事業活動に与える影響は大きくなります。このような理由から、当期の業績予想につきましては、現時点(2019年8月14日)で合理的な算定が困難であるため、未定としています。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

(4) その他、会社の経営上の重要な事項

当社は、コーポレートガバナンスの一層の強化を図るとともに、権限委譲による意思決定と業務執行の迅速化を目的として、2019年3月28日開催の第32回定時株主総会の承認を受け、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へと移行しました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,599,921	3,570,559
受取手形及び売掛金	5,951,118	5,177,172
商品及び製品	3,321,005	3,032,133
仕掛品	293,786	376,765
原材料及び貯蔵品	763,351	878,960
その他	1,267,120	1,418,420
貸倒引当金	△98,403	△89,046
流動資産合計	15,097,900	14,364,965
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,683,460	2,658,794
その他(純額)	2,153,668	3,080,926
有形固定資産合計	4,837,129	5,739,720
無形固定資産		
その他	71,624	181,958
無形固定資産合計	71,624	181,958
投資その他の資産		
その他	2,680,374	2,807,573
貸倒引当金	△11,596	△10,996
投資その他の資産合計	2,668,777	2,796,576
固定資産合計	7,577,531	8,718,255
資産合計	22,675,431	23,083,220
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,219,366	2,449,031
短期借入金	2,029,970	2,029,103
1年内返済予定の長期借入金	1,583,999	1,682,375
未払法人税等	203,105	154,548
賞与引当金	102,853	162,337
前受収益	3,874,597	4,218,146
その他	2,326,298	2,694,966
流動負債合計	12,340,192	13,390,508
固定負債		
長期借入金	4,386,649	3,951,033
退職給付に係る負債	643,859	640,488
その他	647,639	2,143,963
固定負債合計	5,678,147	6,735,486
負債合計	18,018,339	20,125,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,040	10,014,121
資本剰余金	192,326	194,407
利益剰余金	△5,946,683	△7,540,940
自己株式	△15	△25
株主資本合計	4,257,668	2,667,562
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	169,153	154,160
退職給付に係る調整累計額	△31,498	△27,230
その他の包括利益累計額合計	137,654	126,929
新株予約権	261,768	162,733
純資産合計	4,657,091	2,957,226
負債純資産合計	22,675,431	23,083,220

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	13,142,936	13,677,707
売上原価	4,830,282	5,369,328
売上総利益	8,312,653	8,308,378
販売費及び一般管理費	8,776,346	9,294,384
営業損失(△)	△463,692	△986,005
営業外収益		
受取利息	636	455
助成金収入	8,308	5,044
保険返戻金	6,399	6,399
その他	7,807	3,631
営業外収益合計	23,151	15,529
営業外費用		
支払利息	61,151	93,849
為替差損	175,097	204,085
支払手数料	135,000	-
その他	1,706	3,648
営業外費用合計	372,955	301,583
経常損失(△)	△813,496	△1,272,059
特別利益		
新株予約権戻入益	567	98,032
子会社清算益	66,540	-
特別利益合計	67,107	98,032
特別損失		
事業再編損	-	200,850
子会社清算損	5,901	-
特別損失合計	5,901	200,850
税金等調整前四半期純損失(△)	△752,291	△1,374,877
法人税、住民税及び事業税	164,049	152,814
法人税等調整額	△24,029	△124,040
法人税等合計	140,020	28,773
四半期純損失(△)	△892,311	△1,403,650
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△892,311	△1,403,650



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△892,311	△1,403,650
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△86,722	△14,992
退職給付に係る調整額	2,848	4,268
その他の包括利益合計	△83,874	△10,724
四半期包括利益	△976,185	△1,414,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△976,185	△1,414,375
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△752,291	△1,374,877
減価償却費	160,828	346,270
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,344	△7,574
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,291	61,748
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12,199	△2,926
受取利息及び受取配当金	△636	△455
支払利息	61,151	93,849
為替差損益(△は益)	141,190	172,573
助成金収入	△8,308	△5,044
保険返戻金	△6,399	△6,399
新株予約権戻入益	△567	△98,032
子会社清算損益(△は益)	△60,638	-
事業再編損	-	200,850
売上債権の増減額(△は増加)	609,134	719,885
たな卸資産の増減額(△は増加)	△628,767	571
仕入債務の増減額(△は減少)	378,086	291,377
前受収益の増減額(△は減少)	152,035	349,296
その他	3,386	△167,601
小計	48,953	573,512
利息及び配当金の受取額	636	455
利息の支払額	△62,749	△92,750
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△240,104	△166,110
助成金の受取額	8,308	5,044
保険返戻金の受取額	6,399	6,399
事業再編による支出	△13,600	△117,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	△252,157	209,056
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△121,447	△278,111
無形固定資産の取得による支出	△24,494	△73,063
その他	12,255	△110,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,685	△461,891
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,543,627	-
長期借入れによる収入	3,679,576	550,000
長期借入金の返済による支出	△1,248,787	△870,601
その他	17,416	609,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	904,577	289,040
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85,309	△65,567
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	433,424	△29,361
現金及び現金同等物の期首残高	4,671,861	3,599,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,105,285	3,570,559

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首から「リース」(IFRS第16号)を適用しております。また、当該基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、当該基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の有形固定資産のその他が1,010,737千円、流動負債のその他が303,880千円、固定負債のその他が897,464千円それぞれ増加し、利益剰余金が190,606千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失は49,471千円、経常損失、税金等調整前四半期純損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失はそれぞれ27,028千円減少しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	7,167,009	2,471,684	2,403,378	1,100,863	13,142,936	—	13,142,936
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	405,568	17,689	12,139	3,503,419	3,938,817	△3,938,817	—
計	7,572,577	2,489,374	2,415,518	4,604,282	17,081,753	△3,938,817	13,142,936
セグメント利益又は損失(△)	△846,881	187,031	△126,245	186,291	△599,804	136,111	△463,692

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去124,009千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等12,102千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	8,171,603	2,471,462	2,101,027	933,614	13,677,707	—	13,677,707
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	363,029	17,222	39,775	3,423,695	3,843,722	△3,843,722	—
計	8,534,632	2,488,684	2,140,802	4,357,310	17,521,429	△3,843,722	13,677,707
セグメント利益又は損失(△)	△ 980,262	27,391	△169,572	20,112	△ 1,102,330	116,324	△ 986,005

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去70,988千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等45,335千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。